

2) 重要な種への保全措置

重要な種への影響と保全の内容は、表 4.4.2.1-2 に示すとおりである。

重要な種に対する保全措置としては生育地改変による影響の回避または低減を基本とし、必要に応じて、専門家による指導・助言をもとに移植や標本の採集による記録保存などを行う。なお、植物の移植は移植先の生態系のバランスなどを攪乱する恐れがあるため慎重に行う。

生育位置が不明な種、文献においてのみ記録がある種については今後も調査を継続するとともに、工事に先立つ環境巡視による確認調査も継続して行う。

表 4.4.2.1-2 (1) 植物の重要な種への影響予測と保全の内容

分類群	種名	生育環境	影響の予測	保全の内容等
植物 76種	アモリシヨウマ、サツキ	河辺・溪畔・溪谷	事業区域内のみで確認され、事業の実施に伴い現在確認されている生育地は消失すると考えられる。	生育地改変による影響の回避または低減を基本とし、必要に応じて、専門家による指導・助言をもとに移植や標本の採集による記録保存などの措置を行う。なお、植物の移植は移植先の生態系のバランスなどを攪乱する恐れがあるため慎重に行う。今後も調査を継続するとともに、工事に先立ち環境巡視による確認調査も継続する。
	ヒメイワトラノオ、ツクシクサボタン、キビノクロウメモドキ、イワツクバネウツギ、ツクシタチドコロ	石灰岩地		
	マツバラシ、ヒナラン、ボウラン、フウラン	樹幹または岩上		
	ヌカボタデ、タコノアシ、コムラサキ、ミゾコウジュ、オオニガナ、アギナシ、ミズアオイ、ホシクサ、クロホシクサ	湿地		
	クサコアカソ、オオネバリタデ、コギシギシ、アカササゲ、フナバラソウ、メハジキ、シオン、ヤナギアザミ、イズハハコ、シラン	路傍や草地		
	ミズ、オノマンネングサ、ヘツカニガキ、キエビネ、ハルザキヤツシロラン	森林		
	カワヂシャ、タニガワコンギク、テリハアザミ	河辺・溪畔・溪谷		
	クマガワイノモトソウ、キドイノモトソウ、タチデンド、ヒゴイカリソウ、クマノダケ	石灰岩地	事業区域内外で確認された。これらについては、事業により生育地が一部減少するが、事業区域外では現状の生育環境が保全される。	
	ミドリワラビ	路傍や草地		
	ヒメムカゴシダ、ナガサキシダモドキ、キンチャクアオイ、タカチホガラシ、モリイバラ、フジ、シマサクラガンピ、ヒロハコンロンカ、ナツエビネ	森林		

なお、池の鶴地区の石灰岩峰に生育するクマガワイノモトソウ、ヒゴイカリソウなどについては付替道路のトンネル化(後述の「3.6 その他の保全措置 1) 石灰岩峰における付替道路のトンネル化」)により生育地を保全している。

表 4.4.2.1-2(2) 植物の重要な種への影響予測と保全の内容

分類群	種名	生育環境	影響の予測	保全の内容等
植物 76種	イヌコリヤナギ	河辺・溪畔・溪谷	事業区域外のみで確認されていることから、影響はないと考えられる。	今後も調査を継続するとともに、工事に先立ち環境巡視による確認調査も継続する。
	ツクシムレスズメ	石灰岩地		
	ヒモラン、オオコケシノブ	樹幹または岩上		
	コバノセンダングサ、モリアザミ	路傍や草地		
	オオフジシダ、オトコシダ、アツギノヌ カイトチシダマガイ、ヒメサジラン、ヤマシヤクヤク、ツクシチャルメルソ ウ、クマガワブドウ、ナベナ、トサコ バイモ、ケスゲ、イワカンスゲ、コカ ンスゲ、エビネ、カンラン、ヒメトケン ラン	森林		
	アブラシバ	路傍や草地	分布位置の詳細が不明であるため、今後も調査を継続し、分布についての情報を収集する。	
	アズマガヤ	森林		